

## 目 次

本論文に出てくる略語・記号表 .....	1
<b>第 1 章 促音に関する研究の背景及び目的 .....</b>	<b>2</b>
<b>第 2 章 日本語の促音の研究史及び問題提起 .....</b>	<b>5</b>
2.1 日本語のモーラ（拍）としての促音の音韻論的解釈 .....	5
2.2 促音と音声レベルでのモーラ等時性 .....	7
2.2.1 生成面におけるモーラの実在性 .....	7
2.2.1.1 CV 単位のモーラ等時性 .....	7
2.2.1.2 語レベル（語単位）のモーラ等時性 .....	10
2.2.2 知覚面におけるモーラの実在性 .....	14
2.2.3 日本語の音声言語でのモーラの実在性を否定する立場 .....	15
2.3 促音の実験音声学的研究 .....	18
2.3.1 モーラ等時性に基づく促音の研究 .....	18
2.3.1.1 モーラ等時性に基づく促音の生成 .....	23
2.3.1.2 モーラ等時性に基づく促音の知覚 .....	27
2.3.2 相対的な長さに基づく促音の研究 .....	27
2.3.2.1 相対的な長さに基づく促音の生成 .....	28
2.4 促音と発話速度 .....	31
2.5 問題提起 .....	33
2.5.1 促音 /Q/ の捉え方 .....	33
2.5.2 先行母音か先行モーラか .....	35
2.5.3 促音と発話速度との関係 .....	35

<b>第3章 発話速度と日本語の促音の音響的手がかり</b> .....	37
3.1 実験の目的 .....	37
3.2 実験方法 .....	39
3.2.1 材料 .....	39
3.2.2 被験者 .....	40
3.2.3 手順 .....	41
3.2.4 セグメンテーションの基準 .....	41
3.3 結果と考察 .....	44
3.3.1 語長（発話速度）の変化様相 .....	44
3.3.2 子音長対先行母音長及び先行モーラ長の比 .....	48
3.3.2.1 子音長対先行母音長の比 .....	48
3.3.2.1.1 VOT を子音部または母音部と見なした場合 .....	48
3.3.2.1.2 子音長対先行母音長の比（VOT を含む母音部） .....	54
3.3.2.2 子音長対先行モーラ長の比 .....	63
3.3.2.2.1 VOT を子音部または母音部と見なした場合 .....	63
3.3.2.2.2 子音長対先行モーラ長の比（VOT を含む母音部） .....	68
3.3.3 子音長対後続母音長の比 .....	78
3.3.3.1 VOT を子音部または母音部と見なした場合 .....	78
3.3.3.2 子音長対後続母音長の比（VOT を含む母音部） .....	83
3.4 「子音長対先行モーラ長の比」と「子音長対後続母音長の比」 .....	91
<b>第4章 結論</b> .....	99
4.1 VOT を母音部の一部分と見なすことの妥当性 .....	99
4.2 「子音長対先行母音長の比」と「子音長対先行モーラ長の比」 .....	100
4.3 後続母音長による促音弁別の手がかり .....	101

4.4 音素識別の手がかり (cue) と発話速度の変化との関係.....	102
4.5 今後の課題.....	102
引用文献及び参考文献.....	104
付 録 (Appendix) .....	117
A 子音長対先行母音長の比.....	118
A.1 VOT を子音部と見なした場合.....	118
A.2 VOT を母音部と見なした場合.....	129
B 子音長対先行母音長の比.....	140
B.1 VOT を子音部と見なした場合.....	140
B.2 VOT を母音部と見なした場合.....	151
C 子音長対先行母音長の比.....	162
C.1 VOT を子音部と見なした場合.....	162
C.2 VOT を母音部と見なした場合.....	173
和文要旨.....	184
英文要旨.....	189
謝辞.....	195

## 図の目次

図 3.1	本論文と先行研究で取り上げる発話速度の比較	37
図 3.2	セグメンテーションの例 (/papa/)	43
図 3.3	セグメンテーションの例 (/sasa/)	43
図 3.4	被験者別語長の変化 (/tata/, /taQta/)	46
図 3.5	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 1、被験者 2 /p,t/)	51
図 3.6	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 3、被験者 4 /p,t/)	52
図 3.7	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 5 /p,t/)	53
図 3.8	「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 1、)	56
図 3.9	「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 2、)	57
図 3.10	「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 3、)	58
図 3.11	「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 4、)	59
図 3.12	「子音長対先行母音長の比」と語長との関係 (被験者 5、)	60
図 3.13	非促音と促音における「子音長対先行母音長の比」と判別境界	62
図 3.14	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 1、被験者 2 /p,t/)	65
図 3.15	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 3、被験者 4 /p,t/)	66
図 3.16	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 5 /p,t/)	67
図 3.17	「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 1、)	71
図 3.18	「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 2、)	72
図 3.19	「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 3、)	73
図 3.20	「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 4、)	74
図 3.21	「子音長対先行モーラ長の比」と語長との関係 (被験者 5、)	75
図 3.22	「子音長対先行母音長の比」と「子音長対先行モーラ長の比」の分布域の比較	76

図 3.23	非促音と促音における「子音長対先行モーラ長の比」と判別境界.....	77
図 3.24	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 1、被験者 2 /p,t/) .....	80
図 3.25	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 3、被験者 4 /p,t/) .....	81
図 3.26	VOT を子音部または母音部と見なした場合の「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 5 /p,t/) .....	82
図 3.27	「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 1、) .....	85
図 3.28	「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 2、) .....	86
図 3.29	「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 3、) .....	87
図 3.30	「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 4、) .....	88
図 3.31	「子音長対後続母音長の比」と語長との関係 (被験者 5、) .....	89
図 3.32	「子音長対先行モーラ長の比」と「子音長対先行モーラ長の比」との関係 (被験者 1、2) .....	94
図 3.33	「子音長対先行モーラ長の比」と「子音長対先行モーラ長の比」との関係 (被験者 3、4) .....	95
図 3.34	「子音長対先行モーラ長の比」と「子音長対先行モーラ長の比」との関係 (被験者 5) .....	96
図 3.35	「子音長対先行モーラ長の比」、「子音長対後続母音長の比」、「子音長対先行モーラ長の比」対「子音長対後続母音長の比」 .....	97
図 3.36	発話速度による非促音と促音における「子音長対先行モーラ長の比」の分布...	98
図 3.37	平藤・渡部 (1987) と本論文の「子音長対先行モーラ長の比」の比較.....	98

## 表の目次

表 2.1	促音と非促音の子音部の持続時間 (Sato 1998) .....	22
表 3.1	非促音語と促音語における語長の最小値と最大値及びその伸長率.....	47
表 3.2	非促音語と促音語における被験者別「子音長対先行母音長」の比率分布 .....	61
表 3.3	非促音語と促音語における被験者別「子音長対先行モーラ長」の比率分布 .....	70
表 3.4	非促音語と促音語における被験者別「子音長対後続母音長の比」の分布.....	90